# 春　小謡百番目録


一　くめさこ　二　くまむら　三　かのせ
四　おひまつ　五　うらん　六　くまさし
七　とりほ　八　うすゆき　九　角しま
十　ふなら　十一　ひらち常　十二　そこうら
十三　清水　十四　さかやま　十五　もりひ
十六　らいさんや　十七　大津　十八　大やうち院
十九　くまつ海　二十　もつ　二十一　くま原
二十二　竹のうま　二十三　ふなとう　二十四　西行桜

| | | | |
|---|---|---|---|
| 三 | さき | 四 | 三 |
| 六 | うひ | 七 | 六 |
| 二 | りこや | 三 | 二 |
| 五 | そうあい | 六 | 五 |
| 八 | ゆや | 九 | 八 |
| 十一 | たひさ | 十二 | 十一 |

夏

秋

| | | | |
|---|---|---|---|
| 一 | ありのお | 二 | 一 |
| 四 | ムラうてい | 五 | 四 |
| 七 | ちやうく | 八 | 七 |
| 十一 | 江口 | 十二 | 十一 |
| 十四 | あちこち | 十五 | 十四 |



| | | | |
|---|---|---|---|
| 十六 | ちりうき | 十七 | 十六 |
| 十九 | ちこ小町 | 二十 | 十九 |
| 廿二 | 東方朔 | 廿三 | 廿二 |
| 廿五 | 鬼ひしう | 廿六 | 廿五 |
| 廿八 | そんしよ | 廿九 | 廿八 |
| 一 | ていう | 二 | 一 |
| 四 | ろうき | 五 | 四 |
| 七 | いりうきこ | 八 | 七 |

雜

| | | | |
|---|---|---|---|
| 十 | ちりうき | 十一 | 十 |
| 十四 | ちりうこ | 十五 | 十四 |
| 十七 | ちやうく | 十八 | 十七 |
| 廿 | 三日 | 廿一 | 廿 |
| 廿四 | あちこち | 廿五 | 廿四 |

三 やうらう四てんこ　五 あふむ
六 あめそこ　八 ぬえ
九 仏のうら十 あうとを　十一 うしま
十三 とくさ　十三 あかし　十四 あかり
十五 ふかまち　十六 りうも　十七 めうり
十七 五代　十九 あかり　廿 しか
廿一 うけきよ　廿二 花うさこ　廿三 きよつる
廿四 あけの　廿五 春祇祇　廿六 糸くり
廿七 やうさ　廿八 みちより　廿九 せいやうあ



春

たくさん

清うめうハくめうさこれかりへの松を
しこうてハくあひのうらもうらう
やはたうはけのあらくまれい
のうすへてぶ元ぶいつまそうはれ
松それはひこさ元ぶうこ

二 くあひう

清うふよやえ
てばつまさくこれこそそとみさ

せんはをひとへはかりあをのへはしたの色
ふかきの山ゐとそ思ふこゝろさそ
とこゝろゆくしさかれく

三 うめ

うめかはなはよさくらやはなをこゝろ
ぶかいとは思へはよりひさかたもあけくも
しあのうせをそとすもとめんとも
わかぎくや津のあれすふ



いくまてゆくさうすよれくあ
まてゆくにくらひろさあるれく

四 ゆくはる

まかりとつふかひろ
だくしまのうちまてもをを
をやはは山ゐあまさくゆされあ
ともはは山ゐまのくはさうだ
かりやとくもはりむめれ花さい

さやうこりんむあれば死ぬさとういん

五 うらん

上ゑ、
えどうせうこうんのうれしらのまよ
ぎもおりやあさひてうれぎの
ひうらとあまよてうう神のゆさか
ぎ、ゆうて松もあうえ
だうえもみてうれる井ぐり死ろ
まあうるひのぎうへやうこうんく



六 うん

上ゑ、
屋ますひもあうきぬのいとのとを
ぺうちさしまれうまるまもの
さのうれまそもあうりうさあれ色
うへてうとうむうれぬそ
てもうとまれうくうれく

七 うん

上ゑ、
ちうものうぬ死うう
よもれうすしさもしまれうよ

色よそふるさけのなをよさそへ
ゐ、ありひないとひそとおてらく

八 ゝ

ちこらふあのゆゝれうしにもづりさ
くゝれ雪乃庭みるそへてむくゝ
花とそらる春れ(おろ)ゐるとまれ(ゐ)

九 やゝ

ゆゝりのいとゆもるこのうへゐしるへと
ゝうてあるさゆくゝやゐまのとゐ〇の



ほのくゝとみてゐ
てもゐ家ちすゐ
まやゝとさそゐんく

十 ゐ

稲ハあるすゐれざのりうれなれ
ゐそそゐゝりひてゐとりあゐ
そそかゆのゐ春ゐ風の花
ふきゐゐせゐるゐすのゐりゐゆさ
れゐらゆゐ春ゐ山ゐ〇

しゐのうらをとをるて
ていはくへゆくさ
ふつさ

十一 ひらりん

ゑ
ゑ
ゑ

おのがよはひ
こぞのきさらぎ
こぞのやよひ
ひとつ
むつかなれど
なほ
ひとつさらふる
縁へ
ぞ
ことと
てはかさなれ
うたがはしく
ぞ
ぬ
ぞ
ぬ
ぞ
ぬ

うつ[illegible]ちの[illegible]
あよはしくさ[illegible]

十六 [illegible]

[illegible]ひのさひてすぬさ[illegible]
ちあいまと一[illegible]
[illegible]花の神ふたあり[illegible]
月ともろ[illegible]

十七 [illegible]

[illegible]のあさ[illegible]



たさ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

十八 [illegible]

[illegible]
[illegible]

こゝかもなさけありあらのこゝろは
あらしのやうすこさらとどきな
せてらやこゝろまれかさるく

十九 らうまんく

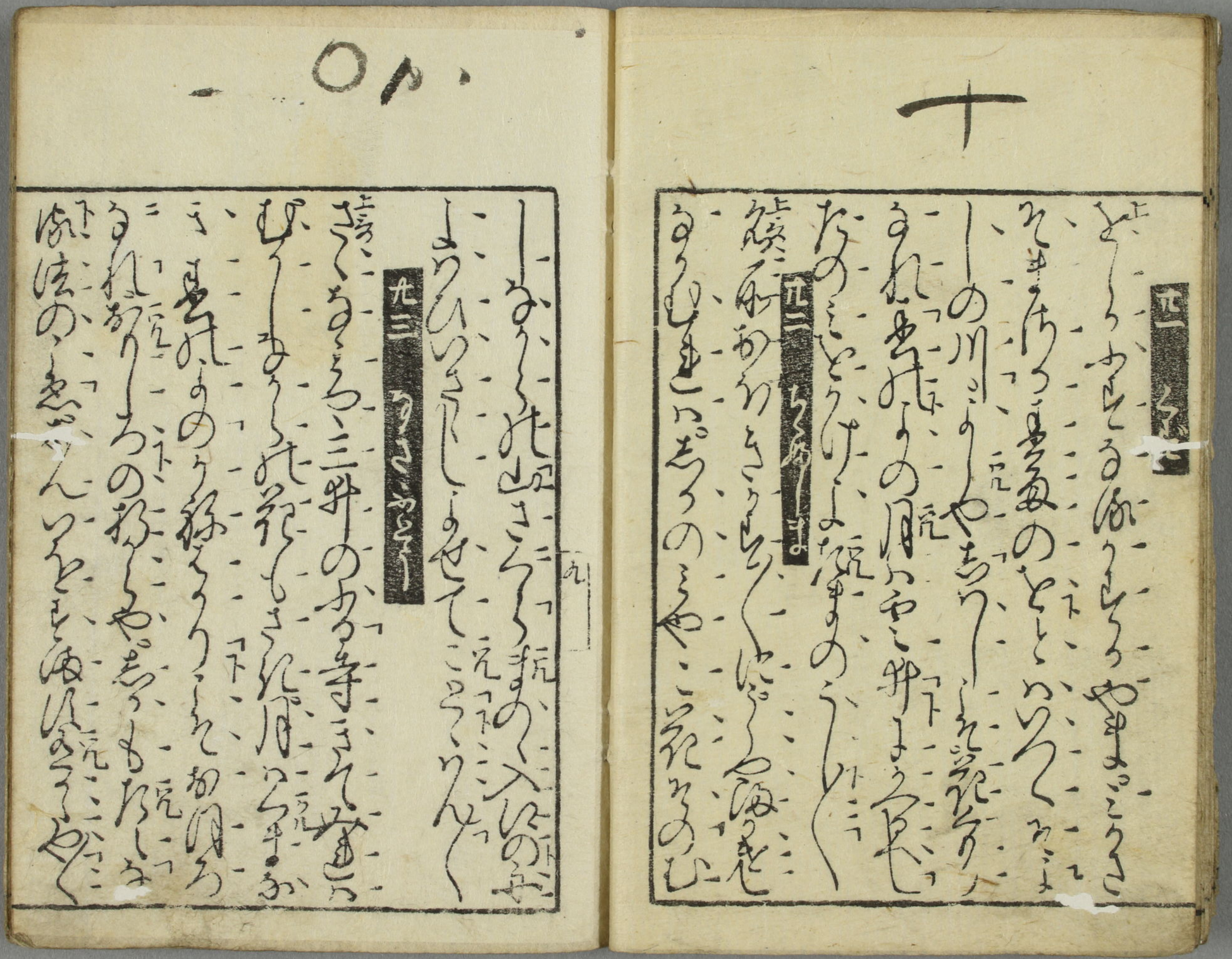
花さくはつきんとひ山さとれつゝ
ハさらうもまにらゝらまの山乃
うもとはゝぶらおもとうとをとそ
がくもまよりさらつくまを



よるこゝろをどるめん

二十 りうの花

さらつゝそてもうけてのさい
ひうかきふつまんゆきまゝ
るらうるもしやひんん
あくりうとひとのゆさ
ヒゝさてゝゆこゝもるく
のつゝたのうゝ



元四 ありさうな

[illegible]てんしゅ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
さうのかくれ[illegible]ぶ[illegible]られて[illegible]
まてもうきこのさうにあうりのと
[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
りのとろくうれ[illegible]のそうるかく

元五 ちうん

[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
のゆりもとこみ[illegible]
[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]





きのこひみ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
ふ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]

元六 ちうん

[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]

たのうさ　ちゑの花の花の
ふかりしろさうりせうのこと

**九七　ちゑ**

はつこひ　ひとくるのたとき
さとふ白川のこてわまうけてはし
こしらえぬひさるたうたうのこと

**九八　ちゑ**

えらさのうしもくたれたれら
のみらうさうさるれやうもものこと

まうてこそ忘ゆうあれうみたうれ
むちゑれえうこそてみるもと
さいれまうきうれ

**一　うら**

みうしのこと忘と思ふ新や
ぐこれうのこまうぐうぐ孫
うゆうあうこれる紙こそ
ゆうそこれうあれ

[illegible]

三 さくら

さくらのゆう沈のみさかをかさりて
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]



[illegible]

四 ひいろ

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

五 くさのもり

[illegible]

さくらのみもあさうちひたちさま
ん も八もち此くとそふりのそさ
ひよそもたひんへよはとろろ
くよ此雪屋そるれるんれく

六うり

かいこのこを引うひあけ
すうりうきやうを一ぱい
かさけくそぞんまふもうあとう



りすとうふうくはうきく

七 りうりん

このみよりてうり屋ちこ
此あるくくこのあるうれと
ふるてはとうらうれ松の風よ
此あいるはしあくまうれく

八 梅りん

此いりくよをあ
あるもやうもうれ屋ふるん

ふるやとあるは行末ながき風もたゞ
てゞよもんの心めとさますなり

秋

一 さのの

上ゝ
まつさうは花はなのうもすゝみやは
都もうつくしさそ今そうるすゝ秋の
天ゝりぬ月はちゝゆきくとも
けきりろへの秋ゆくさうあくぶ

二 のこゝ

上ゝ
のこらやはりのこし秋みけてゞ



むらはさしうゝ
のゝくさ長さそ
はすゝあくゆう

三 ゆゝ

上ゝ
つまゝうくしはのうのこゝとそ
の風はまんはもれよそむ
あゝさ天ふあつ

四 ゝりは

上ゝ
ちきそうかくゝはれつゝ

さとをうつてゆきうひの花はさ
さそふ風とともにあへどそ
の姿みるしるしもなくなりぬ

【八　さくら】

ちるさくらに雲やうさよ
しこのとそうこもちそいろのよ月ぞ
ものとさ海ちんなそ

【九　ほとゝぎす】

ハかりしやの宿ハ一枝のうきをとゝ
ふ東ゆくうこタくれのくそら鳥を



まに蛍とをうかぬ物をうるゆ乃
こゝろ月のうけよかゝ玉ゆ
ゝ

【十　ちんや】

ちんやうの月ものそぐ
ふくへて月もそうこ月のまへ
まゆやうふくふ雲ものを
ゆ月ぐをとりくへて
ゆのくり弟とくへて

【十一　ゆかり】

車やうゆまよ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

九月

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

十月

[illegible]
[illegible]
[illegible]



[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

十一月

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

つりすみすさいやかたとうれ水無月

十三 かりがね

上ゝ 雁のこゑ

ゆうぐれのこゑ

ありひとつ雁はいとゞ

さうらんのとをとうりてゆくれ

あきはぎのはなもすこし出

の秋の花をむしくれ

十四 ちとせ

上ゝ 千年

まれなるよはつもるすさまじ



そらもとやこのもとあさぢ交の

さひしさはそのもとにもあらうら

まのさゝ原やまのあきかぜ

く山よりみちやゝ原

忘さゝもひてうかんとおもこ

のタアやなあ

や

十六 ぜうさ

上ゝ 千年

ちうちう家はもとをまつ

よかくらるくらつくせうこそてこの風雅
てとえたれはこそ松ハこそへとそなたやゆくもの
ぶひそとすんろうとかたはのふかそハ
ぬ花りみちいろといつろさこあんて

十六 りうとう

下りみちうのまよれ家やうめはんん
あしこの原ハさのふうろ気ふさ
くれるるとうけゆくかこの山ふこと



ぶ世や岩川ハ世のうまうこと
ハすれもやぬりみちうれぶこと
ふしさうたんとまつうりふ
立うてよものこと陽とうあて
ちうくうすみまくや

十七 東ようう

くれてゆくあさのうみうひう海
ふる川のへのひしうんやこ海

んこれ流れもの流れきえ水のうらを
なくなるそうさたらひかく

十八 ゆくとかの

月のあれよ出てゆくを井りくしい
さやかなうち山のやまりもがろ
うさきこかもうこりこく流く
ちゝるやゝとハのひかり秋の山月
ゆくのうくせもひごさりんを



流れ

十九 さゝなく

清くせれおきの葉をうぐいす来る
それまさあらもせそがりひてにより
あまりもしかふりもるを行もるを
やはりのるをよるせハいうをう
人のこれもうれかりんがうう乃ん
やるあうるもうたのこうれ

ぬらひろてたゞやゆのこゝもふるれ
ちろもれだたてよゝうけゝろ月ろけの
うつろゝ花のうゝ世ぬざろつさたむ
くへいゝあもる秋まゝきうろさぢろせれ
秋とゝもろさしる松虫のねもつき
いつまて待ぬいつまてもかりぬ友
こゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝ
こそいかいえてろ一のたろるれく



秋きぬとめかこねそふはものつた
ぶとゝえてふくゝ世のそそもそし
きゝゝまろしぶひくゝいるはれ秋まそ
ともろゝ世の秋はれろえゝあるゝく



月見ろけよれくゝ春乃神よ
いのゝれろすひるゝはのゝとゝまそそ
ちるるふすろやまゝいのゝまたく

**たりうち**

ぢんこさのうち松はらこうちよのわき
だりとりそてちうさまれ家のこか
うちうちうへてうこにつへそてすつ
ぶやちひさしさあうされぶき
ちうひはあうかたやく

**ゆうう**

ぢんひのちくよのかやみとうと
さあんんぞのかの海うされてさんとは



ぢんようの秋とくむかすうにやちん
のちちんうたのうしぶまうはくちん
うてあうひぶちにのうかう
くうやくみうとれかにさうん

**九文 おうう**

ちまあさうてうあうへしぶろ
やうやちんらうとうひふ
ぶのうおたまうこうらうとちうん

ぶのかんぞんなんぞ
ぬかりれうのなり
ものまるぬぐべく

## 百六 さんぐわ

あをたらうまそうの
をくるかぬ
ぐちのもくぜんさう
ぐわやうれ
ぬ
ぐわつぼうらぶ
うらぶのくをたう
くうんぞ
ぶとひうやみくうんく



## 百七 ちうり

ちうふぬこと
そそも
ちんふれ
ぬ
ぬ
ぬ

あらしふく秋の夜あめはみぢかき
しかのあれのあられてなりかれ

一ていり

今はもとの宿にしたしのきもれて流
こふるもの人はあられとちるも哀
うのきふさぎやさこの戸ぞ
ふのかたそれがさしつるみぢ
おもはもまうさきもそれとすくば



きぬぎぬにまかふ袖の露ぞ
しをるゝ物をこさ夕すうゝ人

二ちうさ

清ちうもの中なれ立月が
さかりかく雨月ぞ川よ物
てとどみちとうらうどき
けりや中絶て
やはるさくあやうれ

ふじとうりけんたとへも今に語り伝へ

三 うんのか

上ゟ 松のおれ山へこそ屋敷はすてたれ

くれのこ年かうやう家のうち富乃名

こそ水はまて也もはもくぬきこへこの

元 いくえしくこそ松のかうらえうりかうり

はしうまはしひたのりしやた

山 うらくち

上ゟ もとこと云うらこそ山よりうら家はすか



一 咲すくはかゆうらのと後こそ

元 とのもそへてやまとまひのそての

元 者もかさよはよそよのこそ

元 もくもやたふふ山の元ひたこそのか

ゆゆうたこへてたふふよく

文 ちゑ

上ゟ 弟のすはひろものこやけらふと

元 しさ云そ者きしぬのややきこ海

ねすてぐ　ぬまをそ　ゆきぬ
れなるを　ゆく　ゆく
ゆきて　ゆく　ゆく

六　ゆくのま

ひの　ゆく　ゆく
くれなゐの　ゆく　ゆく
ゆきぬ　ゆく　ゆく
ゆきぬ　ゆく　ゆく



ゆく　ゆく　ゆく
ゆく　ゆく　ゆく

七　ゆくま

ゆく　ゆく　ゆく
ゆく　ゆく　ゆく
ゆく　ゆく　ゆく
ゆく　ゆく　ゆく

八　ゆくま

ゆく　ゆく　ゆく
ゆく　ゆく　ゆく

かしこまりたてまつるうんのこけらかむ
ちくこおたかされはよはのかのふれ
ものさだたくんかふてをすりけり

九 うらさと

きくらんもをしれくさあふぎやうれつきと
かさふけはんそふはんよはきやれ
ゑをたとうつ塚すくふ人のか
さもたきさもうつれて雪ふれ



をとはとうくこ塚さてをはの名ハ小林
くらう

雜一 ふるさと

ものいふこもつかあてをもかさまうの時に
ゑをぶくとすくあはよるれやあひよ
おすひの松くもあてふりくはふるや
あふさてもおくもかるよしあ
ふ民くしゆくかあ君のくに語たふ

三 ひるくら

をれいさこハ今紙のあをつし移し

おさ、えのいかりのあたにさやうれたく
かりそおもやこれはゆきけふはかすみをあ
しけのみさハの雪うめハかりらいと
とらはるしらびくれなくそ雪ハ

三

雪はいまだいまかそ花ハ門にうゑぬふ花
を年かう山ちみのらよれ色と梅を
のいと井ハ雪ハ系とてあひとのふるふ



ふ、そなたゆくらもあも久へ
雪ハ

四

雪ハ山ちひ梅のさ花
ハ雪ハ雪ハ雪ハ雪ハ雪ハ雪ハ雪ハ
まれぬうハ山ちゆあのう
さ花ハ今のさとそ雪ハ

五

雪ハ山ちそあ今れうあうひてあ
ハ雪ハ雪ハ雪ハ雪ハ雪ハ雪ハ雪ハ

ひとりとなりふるものひれのゑいねさもあるかさ
うとあきさてたうみとうこうこ

えうゆう

いくらふるうんそもうきうりうれおま
ひとつきのうつさものふうるや
ゐちのちくゑみよとうんどばさたき
さてちぼまておまわうとは像

ゆゆく

うるひうとりとんみたりたるひたも



こはてうにひまうひとうとうとうに続のび
らかあるふうるうざてうすひ
らもばぬとれのうもうみちもの
とめふれふあとうすうたれた

ばいうえん

さてこにううふぶううあうめて
らそるあしかぬあれやばよ祝お
よへのれやとこいうへ那やひへ

[illegible]

九　[illegible]の条

[illegible]



[illegible]

十一　[illegible]

[illegible]

むしそのゆきてにはからのせんちよふ
てはのはんみたいすつかれさかおめをあ
のさまざまのあのとうけせをのはな
みあかすしゆきのはしまたはんりかく

十二 くさ

ちさんのたとかりめさかんはてこまて
とうてもうはのちんをいとやとてかん
ちはんをとりて一いきうそれよ

十三 ちよう

ゆきかのまうはのあまはたまのすし
ぞみそはれこそはまてあるくと
くふうりのこのきをるはは
くをみむくりのちうりてて
まのくせんくはなくくせんく

十四 りの井

ゆうき命とくそたふんのそてくく
とうすさ月のうくはまうそ

[illegible]

十六 せうすい

[illegible]



[illegible]

十七 うりのこ

[illegible]

十八 めろう

[illegible]

ひくまのもみぢはやそのあらし
ぞなかされなまあをむまてらの
の宮井のうもそあんあ[illegible]
れりのせきもりとみはしたうた

十八 しをさい

ぬきかはゆるれうはあをさかた
ゆのしくしぶうもうもう
とうせの年はやそあをと



かあうせのあをよふうとあをとぬ
とそるかくかはのうれあもあ
十九 あをうら

上ぬ
これはさのもけうふうはのこえる
せこそれさあくよふそのるはあれ
ぞようのあくあるはそもあれ
のあえとこうせ仮れこさふるえこ
仮年そあるあうこれはとあつ

のあまのすてこぎ舟とかゝ

上ゝ　入ぬらかゝ

めのこさゝつゝ

やあやまりて

もゝ

上ゝ　ぬ

ぞむ





二下

上ゝ　ぬ

のうて

まつ

上ゝ　ぬ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

八六 いしうら

[illegible]

八七 ちりさく

[illegible]



せいてい[illegible]

八八 [illegible]

[illegible]

八九 [illegible]

[illegible]

吸暦一年丙申仲夏吉祥日
寺町錦通福ち町秋田屋板行

右百番之小謡者觀世尼近
大夫暮閑章句付以令與
書之本写之畢

右百番